

愛知県岡崎市額田地域は明治時代から植林を進めてきた歴史ある林地です。「枝打ち」の手法で手塩にかけて育てたヒノキからは、節の無い高品質な板を製材することができます。しかしそんな「地域の宝」が、山の中で切り捨てられたり、出荷されてもその本来の価値に見合わない低価格で取引されているのが現状です。



枝打ちとは

枝打ちとは木の下の部分の枝をノギリやナタで切り落とす作業です。木の成長に従って数年おきに繰り返し行い、はしごや縄を使って6m以上の高さまで枝打ちを行います。これにより製材した時に節や穴あきの出ない美しい製品を作ることができます。

山と間伐

人工林には間伐が不可欠です。間伐の遅れた森では陽の光が入らず草木が生えなくなり、土が痩せていきます。すると保水力が落ち、土砂災害のリスクも高まります。



Local Fair Trade

製品情報



リタウッド 床板

規格 無節
1900mm×15mm×115mm
樹種・産地 低温乾燥／本実加工
ヒノキ・岡崎市額田地域
単価(税抜) 38,400円(16枚1坪分)

リタウッド 腰板

規格 無節
1900mm×12mm×75mm
樹種・産地 低温乾燥／本実加工
ヒノキ・岡崎市額田地域
単価(税抜) 22,000円(22枚1坪分)



「リタウッド」の名称は、利他的な消費活動であること、山側へのリターンが大きいことから名付けられました。

お問合せ

一般社団法人奏林舎

〒444-3432 愛知県岡崎市千万町町字寺沢52

Tel 0564-77-7717 Mail info@sourinsha.org

このパンフレットは公益財団法人 トヨタ財団のしらべる助成事業で作成しました



その木材、どこで
どのように作られたか
知っていますか？



公正な取引が
山の未来を
支えます

私たち日本人は、多くの木材に囲まれて生活しています。しかし今の日本では、質の高い木材がその本来の価値に見合った価格で取引されず、苦勞して山を手入れし木材を出荷しても、ほとんど見返りがないことが多いのが現状です。そんな状況が山を所有している山主の「山離れ」に拍車をかけています。そして山離れは林業の衰退と森林環境の荒廃につながり、山間地集落の過疎高齢化を招くという悪循環を生み出しています。



山主が森の手入れを行い、豊かで美しい里山の姿を維持していくためには、その労力に見合った正当な対価が支払われる持続可能な取引のサイクルが作られることが重要です。



地域材の フェアトレードを目指して



リタウッドはその現状を変えるべく、額田地区の優良な木材を、地元の製材所・工務店と連携して作られた高品質な内装材です。50年以上に渡って大切に育てられた木材のぬくもりを暮らしの中に取り入れることで、山に関わって働く人たちが正当な対価を得ることができるようになります。地域全体で持続可能な消費のあり方を進めていくことが、豊かな森づくりへとつながっていくのです。



生産から販売まで
山主が製材所・工務店と連携し、製品化や販売まで責任を持って関わる。



計画的な生産
優良材がどこにどれくらいあるのかを調査・把握した上での計画生産。



良い材に正当な価格を
出荷された丸太からどんな製品がどれだけ取れたかによって原木価格を逆算。



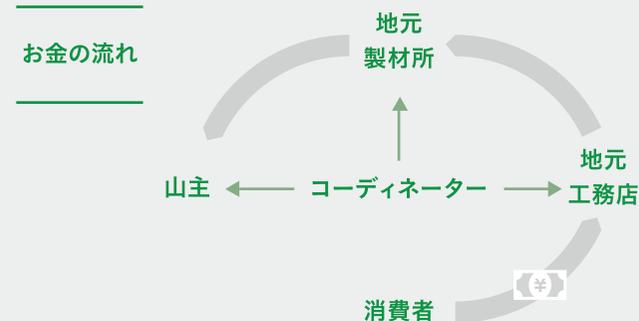
豊かな森づくりに貢献
山主が希望をもって山と関わられるようになり、豊かな森づくりが広がる。



山主への対価還元
これまで製品価格の数%程度だった山主への還元率を30%程度まで引き上げ。



持続可能な消費
その製品がいつ、どこで、だれによって作られたのかがわかる、顔の見える生産・消費活動。



木材の取引では、売り手である山主の立場が弱くなりがちです。そこでリタウッドの生産過程では、全体の調整を行うコーディネーターが仲介に入ることで関係者が納得できる価格を設定しています。同時に、山主自身が木材流通や価格決定の仕組みを学び、どうすればより高く売れるかを共に考えることのできる場づくりも行なっています。

リタウッドの特徴